

24日開催の東京マラソンが企業のマーケティングの場として脚光を浴びている。カゴメが「トマトを運動食で普及させたい」とランナーへの配布を始め、ドールは高級バナナで迎え撃つ。参加ランナー3万6千人、沿道の観客170万人という巨大イベントは、ランナーだけでなく企業の競走心も駆り立てる。

東京マラソン 企業も競走

カゴメ「新顔」トマト

運動食と言えば?

東京マラソン財団によると、2013年大会の協賛企業数は12年大会から3社増え、過去最多の25社になった。カゴメと日本興亜損害保険、アメリカン・エキスプレスが新たに加わった。

「トマトは運動後の疲労を軽減する可能性がある。リコピンという成分が含まれる。トマトを運動時に摂取する食物として定着させたい」(カゴメの担当者)。そのマーケティングの舞台に「数多くのスポーツイベントの中で、認知度や注目度が

ドール「定番」バナナ

ドールは参加者にバナナを提供している(昨年の様子)



東京マラソンを選んだ。ランナーに配布するのは、リコピンを同社の標準的な品種の1.5倍含む「高リコピントマト」と、ミニトマトほどのサイズのため走りながらも食べやすい「ちいさなももこ」の2種類だ。カゴメが開発し、全国のスーパーなどで販売している。

そのバナナを08年の協賛以来、ランナーに無償で提供してきたのはドールだ。今大会も高級品種「極どマーケティン」高そうな企業も目立ち、様々な会を盛り上げ、Wの日本法人、カ所、フィニッシュ地点の計6カ所ですランナーに提供し、トマトの効果を体感してもらおう。担当者「トマトは水分補給にもなる。運動時に食べる代表的な食物のバナナに肩を並べたい」と意気込む。

「(新顔の)ト存共栄したい」つ、「スポーツ性が最も高い食りバナナ」と対ぞかせる。

食品やスポーツどマーケティン高そうな企業も目立ち、様々な会を盛り上げ、Wの日本法人、

東京マラソン協賛企業の活動は多岐にわたる
セビオ 1口1000円の寄付で東京マラソンに参加できる抽選企画を実施。約500人が応募
アメリカン・エキスプレス 五輪金メダリストの高橋尚子さんらの指導によるマラソンの基礎を学ぶ練習会
大塚製薬 各給水所に社員を2人ずつ配置。飲料「アミノバリュー」をランナーに提供

埼玉・群馬の和牛タイへ

立川の食肉卸 百貨店などに販売

食肉卸のミートコンパニオン(東京都立川市)は5月から埼玉県、群馬県産の和牛肉をタイへ本格輸出する。現地の合弁企業から百貨店や高級レストランなどに販売する。3年後をめどに月間輸出量を5000キログラムと現在の10〜17倍と大幅に増やす計画だ。経済成長により高級肉消費の急速な拡大が見込めるタイなど東南アジア市場を開拓する。

タイの食肉バイヤーに安全性をアピールする狙いで、飼料や医薬品を獣医が調べたうえで育てた和牛の肉を輸出する。埼玉、群馬の両県産を中心とするが、九州・沖縄産や食肉市場で独自基準により仕入れた和牛肉も一部含める。

タイの百貨店では和牛肉のロースを1000グラムあたり2000円前後で販売している。日本国内の1000〜1500円と比べて高く、採算は合うと判断した。

ミートコンパニオンは現在、タイに和牛肉を月間300〜500キログラム輸出している。2月に設立した現地法人を通じて現地のニーズを把握するとともに、様々な食べ方も提案する。

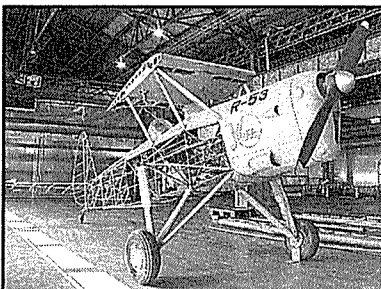
タイでの牛肉の食べ方はステーキが圧倒的で、輸出する部位はロースなど高級品に偏っている。このため、ロースに比べてやや安価な「もも肉」の消費拡大も目指し、すき焼きやししゃぶししゃぶ料理を現地で紹介しながら販促する。

無線LANで駅情報

メトロがアプリ 周辺の街も紹介

東京メトロは主要駅構内で無料の公衆無線LANを利用した情報サービスを開始した。スマートフォンなどが利用可能で、駅周辺の街や名所も紹介し、地下鉄利用者の利便性向上につなげる。

公衆無線LANサービスを手掛けるグループの企業とANT(A)、名付けたiP(AiFオー、)ンドロイド用アプリを立ち上げ、メトロ独自の無



1953年生産 国産航空機を修復

航空機部品を生産する新立川航空機を傘下に抱える

東京都議会は20日に本会議を開き、猪瀬直樹都知事が初めて施政方針を表明した。「世界との激しい国際競争に打ち勝つため、都市

強化



初の施政方針表明は1時間17分に及んだ

一元化や整備に力

(16キロ)の確実な完成を国に求めると表明。世田谷から東京湾岸に抜ける外環道の延伸についても「首都圏の高速道路ネットワークを

空き

12年

東京都が2013年度